

# すこやか

第26号

2006/9/15

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

## 早期肝癌を発見し、根治可能なRFA(ラジオ波熱焼灼療法)治療を！

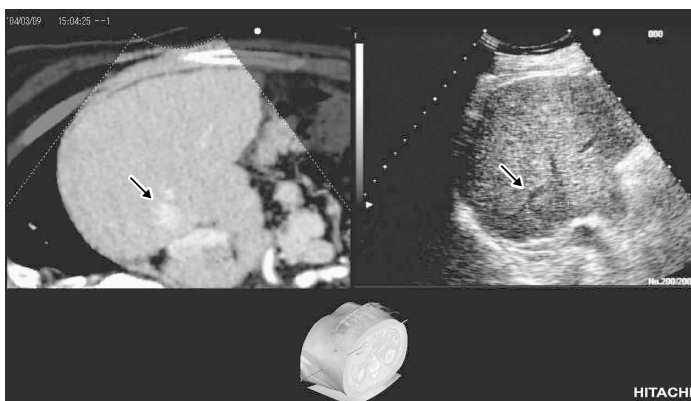


さて、肝癌のできる原因は何でしょうか。肝癌の90%は、C型慢性肝炎もしくはB型慢性肝炎の患者様です。‘肝臓’は沈黙の臓器と呼ばれ、5cm、10cmの肝癌でも、症状に出なくても不思議ではありません。そのため、C型慢性肝炎の患者様は、月1回の腫瘍マーカー（AFP、PIVKA-II）を含めた血液検査、6ヶ月に1回（最低でも年1回）の腹部エコー、造影CT検査が望ましいとされています。

近年、早期肝癌（2cm以下）の場合、手術に代わるRFA（ラジオ波熱焼灼療法）治療で十分根治可能となり、当院でも積極的に行っております。RFA治療は、超音波ガイド下で電極を肝腫瘍に挿入し、電磁波で肝腫瘍を融解壊死させる治療法です。利点は、術中術後の痛みが少なく、合併症も少ないため、1週間で退院できる点です。また、全国的には10～15%程度の局所再発が報告されておりますが、私自身の経験では、肝癌患者約100例に対して5例の局所再発しかなく、早期発見されれば局所のコントロールは十分可能です。さらに、前病院（りんくう総合医療センター）で、世界初のReal-time Virtual Sonography（RVS）装置を導入し、超音波で見えにくい腫瘍に対しても治療可能となりました（2005：アメリカ肝臓学会、2006：アメリカ消化器病学会報告）。この装置は、CT画像と超音波断層像とがreal-timeに同一画面に描出されるため、さらに確実に安全に治療が可能です。きちんと検査を行い早期発見すれば、局所のコントロールは十分可能です。心配、疑問点がございましたら、気軽にご相談ください。

内科医長 北田学利

### Real-time Virtual Sonography (RVS)



CT

腹部エコー

CT上は、腫瘍が動脈相で白く染まりよくわかるが、腹部エコー上は腫瘍がわかりにくい。

## 外来診察のご案内

当院を受診される患者様の利便性を高め、より満足していただける質の高い安全な医療サービスの提供を目指し、4月より受診時のシステムの変更を行ないました。

具体的には

- ① 待ち時間の表示
  - ② 機械による来院確認の採用
  - ③ 中央処置室に順番発券機を設置
  - ④ 各科での検査予約の実施
  - ⑤ 会計での番号呼び出しの実施
- を行なっています。

約半年経過しましたが、あらためて外来の流れをご紹介します。

### 1. 受付

予約の方も、予約のない方も診察券を通してください。受付けた時間が各科外来受付のコンピューター画面でわかるようになっていました。ただし、検査のみの方は、直接該当する受付にお越しください。

#### 《保険証の提示について》

保険証の提示が3ヶ月以上されていない場合は、来院受付機での受付が出来ません。毎月の保険証確認にご協力をお願いいたします。なお、はじめて当院を受診される患者様は、まず初診受付にお越しください。

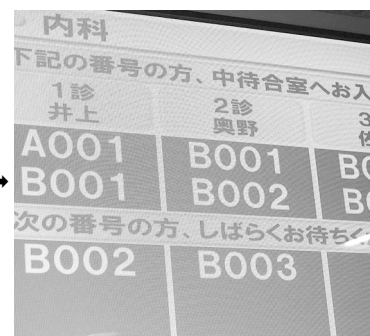


### 2. 各科受付

\*予約した医師名と予約番号を確認してください。

#### 《予約のある患者様は》

そのまま受診される外来の待合でお待ちください。  
受付票に記載されている予約番号、たとえば〇〇医師のA001が、患者様の予約番号です。表示板を見てお待ちください。  
表示板で診察の進行状況がわかります。(表示板の上から2番目の位置)→  
表示板の上から2番目になれば、中待合に入り、担当医師の診察室前でお待ちください。  
(一部の科ではお呼びするまでお待ちいただく場合もあります。)



#### 《予約のない患者様は》

各科の受付で、問診票を記入していただきます。  
そのあと、当日の予約票をお渡しいたします。  
予約票に記載されている予約番号、たとえば〇〇医師のA001が患者様の本日の予約番号です。表示板を見てお待ちください。診察の進行状況がわかります。  
表示板の上から2番目になれば、中待合にお入りください。  
(一部の科ではお呼びするまでお待ちいただく場合もあります。)

\*お名前での呼び出しを希望されない患者様は、窓口で声をおかけください。

### 3. 診察

レントゲン、内視鏡検査、CT、エコー、心電図、血液検査など全ての結果を患者様と一緒にパソコンの画面で見ることが出来ます。CT、内視鏡検査、エコーなどの検査の予約を、検査室に行かず各科外来で患者様の都合を聞きながら取ることが出来ます。



### 4. 中央処置室

中央処置室は、全科の採血、注射、点滴を行なう場所です。

#### 《中央処置室の受付は》

中央処置室前の発券機で、番号札を取り、お呼びするまでお待ちください。診察券で、検査内容を確認後、処置をおこないます。当日診察を受けられる方以外は、来院受付機を通さず直接お越しください。



### 5. 会計

各科で渡された会計用ファイルを会計窓口へ提出し、お待ちください。また、自動精算機でのお支払を希望される方は、窓口にお申し出ください。お支払いの準備ができましたら、番号でお呼びいたします。院外処方せんには、会計印が必要なため、必ず会計ファイルとともに提出してください。



### 6. 院外処方せんについて

院外処方せんは、お近くのかかりつけ薬局にお持ちください。かかりつけ薬局へ院外処方せんのFAX送信のサービスも行なっています。有効期限は発行日を含め4日間ですので期限が過ぎると、処方せんの再発行が必要になり費用は自己負担となります。

各科外来で看護師が生活指導・看護相談・診療の説明など行なっています。いつでも各科看護師にご相談ください。

## セカンド・オピニオン外来のご案内

セカンド・オピニオンとは、どのような意味かご存知でしょうか。

直訳すると「二番目の意見」となりますが、医療の世界では「別の医師に診療方針を聞いてみる」という意味です。

例えば、Aさんは体の具合が悪くて病院や診療所を受診したところ、「あなたは、胃に腫瘍が出来ているので手術が必要です。」と、言われたとしましょう。Aさんは、ショックを受けられる事でしょう。しかし、もしかしたら手術をしなくてもいい方法があるのではないかと。疑問に思った事を、別の医師に相談してみる事も大切です。そして、それらの意見を総合して、どのような治療に望むかを判断すべきではないでしょうか。

そう言った疑問をもたれる患者さまの為に、当院では平成18年3月20日より癌に関するセカンド・オピニオン外来を開設しました。

他の医療機関での診断や治療方針について、別の医師の意見もお聞きになりたいという患者さまに対し、当院の専門医が相談に応じます。

- ・対象となる疾患は、乳がん・胃がん・大腸がん・肝がん・肺がんです。
- ・当院（セカンド・オピニオン）での検査・投薬は行いません。
- ・対象となる方は、患者さまご本人またはご家族ですが、ご家族だけの場合には、ご本人の承諾書が必要です。現在受診されている主治医からの紹介状を必ずご持参ください。
- ・画像・血液などの検査データは、可能な限りご持参ください。
- ・専門医が30分程度の面談を行います。
- ・料金は¥10,500です。（健康保険適用外のため自費計算になります。）
- ・予約制になります。

予約・問い合わせ：市立伊丹病院 地域医療室

電話 072-777-3773（内2235）

## ご寄付

市内に在住されていた故西部夏子さまから、「市立伊丹病院の医療研究に役立てて」と多額のご寄付をいただきました。

当院では、個人のお志に感謝し、医学振興基金として管理して、地域医療の一層の向上に役立ててまいります。

## 医師の人事異動がありました。

採用		退職	
(18年7月1日)		(18年6月30日)	
整形外科医員	上杉彩子	循環器科部長	酒井尚彦
		放射線科部長	小川隆平
		整形外科医員	三輪俊格
		皮膚科医員	松本晴子